

令和3年度

学生によるオレンジリボン運動

帝塚山大学 実施報告書



実施主体 教育学部こども教育学科3年生有志

実施内容 大学祭等でのポスター等の展示

①事前に取り組んだ内容

授業の中でオレンジリボン運動について学び、学生の立場としてできることを考えた。また、オレンジリボン運動や児童虐待についての理解を深めるためのポスターを作成し、発表した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

11月の児童虐待防止推進月間に合わせ、学舎でオレンジリボン運動について、ポスター等の展示を行うとともに、オレンジリボンとチラシを設置し、学生が自由に持ち帰ることができるようにした。また、大学生においても同様の展示を行った。

③オレンジリボン運動を終えて…

私たちは子どもに関するテーマ探求を行う中で、児童虐待について調べていた。その活動の中で「オレンジリボン運動」を知った。

ポスター作成では、2つのことを意識して取り組んだ。1つ目は関心をもって見てもらうこと、2つ目は虐待を身近な問題で捉えられるようにすることである。そのために4コマ漫画やイラストなどを取り入れる工夫をした。また学内展示をする際には、より多くの学生の目に留まるような場所にポスターやリボンを設置した。

大学祭での展示では、他学部にも知ってもらえる機会だったので積極的にリボンやチラシを配布した。

これらを通して、学生の時から虐待について一人でも多くの人意識できるような啓発運動になったと考える。

写真

